

ピックアップカリキュラム



臨床心理学研究科 臨床心理学専攻（修士課程）

臨床心理学特論Ⅰ

臨床心理学の定義、歴史、基本理論、および、心理臨床の実践に必要な基礎知識、基本的な態度等について理解を確かなものにするを目的とします。また、乳幼児期から高齢期にいたるライフサイクルにおいて、それぞれの発達段階ごとに特徴的な心理社会的課題をふまえた臨床心理学的支援について学びを深めます。さらには、心理臨床の活動領域ごとに、臨床心理学的支援の実践活動について基本的な考え方や知識を習得するとともに、心理援助職として求められる資質とは何かを理解し高めることをねらいとします。

臨床心理査定演習Ⅱ

心理査定 (psychological assessment) の概念を包括的に理解した上で、その中でも主たるアプローチのひとつである心理検査について学びます。心理検査による査定では、クライアントを疾患という視点からだけでなく統合的・人格的把握が出来ることが必要です。講義では、投影法と質問紙法について、個々の実施方法および解釈の方法を習得します。さらに実際的な技法取得のために、主体的機能を持つ検査について重点的に訓練を行います。これらの検査を中心にクライアントに即応した検査バッテリーを組める視点を養うことが課題です。また、心理査定の報告書については、クライアントの多面的理解と総合的考察を目標として、実際に多数のレポートを作成し検討し合うことを予定しています。

臨床心理基礎実習

心理臨床活動を行う上で必要な、基礎的な態度、技法を修得するとともに、心理臨床の現場における参加観察を通して、心理臨床の実際を体験します。学内における事前指導および事後指導の時間では、ロールプレイによる面接や、いくつかの心理療法の実習を行います。施設での現場実習としては、学外実習機関として適応指導教室、学内実習施設として本学大学院臨床心理センターにおいて心理的支援の実践活動を行います。さらに心理臨床活動に関して、起きている事象の考察や、行動の振り返りが的確にできる視点を養います。ケースカンファレンスに参加および、自らの実習に関して実習報告会で発表を行います。

生涯学習学研究科 生涯学習学専攻（修士課程）

生涯学習学特論

生涯学習・社会教育についてのこれまでの学習をさらに深めて、次のステージに研究を進めるための糸口とします。生涯学習・社会教育の基本的な理念や、我が国の生涯学習・社会教育の歴史など、これまで学んできた生涯学習の基本的な内容の再確認を行います。学習者の行為の側面からみた生涯学習のあり方について、社会人による様々な場面での主体的な学習や活動について考えます。「人生100年時代」ともいわれる現代において、生涯学習社会とはどうあるべきか、適宜、発表や討論も行いながら改善方策を考える資質や能力を養います。

学校心理学特論

学校生活における児童生徒の学習面、心理・社会面、進路面及び健康面に関わる諸問題について、カウンセリング、コンサルテーション等の諸理論をふまえつつ、学校教育の場で対処するための理論と実践について展開します。特論に続く「学校心理学特別演習」では、「関わりづくりに関する演習」「傾聴演習」「カウンセリングプロセス・コンサルテーション・コーディネーションに関する包括的な演習」をとりあげ、人間関係の中で、子ども自身や援助者、また組織の問題解決にあたる能力の基盤の獲得を目指す内容とします。

生涯学習活動特論

生涯学習学を専門とする教員の研究活動や教育実践などの学びをとおして、自らの生涯学習学における研究主題の設定や研究方法の習得をめざすとともに、本研究科の目的である生涯学習の振興に資する専門職及び研究者の育成を図ります。

生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻（修士課程）

生涯スポーツ学特論

生涯の各時期におけるスポーツ活動の社会・環境要因や個人要因（性・年齢・性格・職業・体力等）を捉えて議論する。幅広い年代や多様な特性をもつ人々に向けて生涯スポーツを推進していく上で、指導者の役割や必要な資質についても論じます。氷雪寒冷圏域における生涯スポーツの基礎的理論とその現状や課題について理解を深めます。全体を通して研究方法を学ぶとともに今後の課題について考究します。

スポーツ生理学特論

自然科学的に人間を理解する時には機能・運動面の「生理学」と形態・構造面の「解剖学」とで捉えます。講義は運動面を内容とし、基盤的な運動生理学各領域の復習を踏まえながら、特にそれら知識のスポーツ応用に講義の焦点を当てます。そして広く個別のスポーツから運動生理学的現象を捉えて分析する能力を身につけます。

トレーニング科学特論

自然科学的に人間を理解する時には機能・運動面の「生理学」と形態・構造面の「解剖学」とで捉えます。講義は運動面を内容とし、基盤的な運動生理学各領域の復習を踏まえながら、特にそれら知識のスポーツ応用に講義の焦点を当てます。そして広く個別のスポーツから運動生理学的現象を捉えて分析する能力を身につけます。

生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻（博士課程）

スポーツ医科学特殊研究

寒冷地域における健康・スポーツ医科学関連の諸問題とこれらに対するアプローチ法について、生涯スポーツと関連づけながら講じます。近年、健康・スポーツ医科学研究が発展し、その考え方は大きく変化してきています。常に最新の知見に触れながら健康医科学の基礎知識を身につけるとともに、氷雪寒冷圏域に特有の問題についても健康・スポーツ医科学の見地からアプローチします。

スポーツバイオメカニクス特殊研究

本講義のねらいは、バイオメカニクスの手法を用いて、スポーツ動作を力学的に分析し、得られたデータを解釈できる能力を養うことです。バイオメカニクスの知見を通して運動・スポーツ能力を理解し、その計測や評価の方法および効率的な向上策の考え方を学びます。個別のスポーツ動作をテーマとして、動作固有の分析法や力学的メカニズムの解釈方法について学習します。

冬季スポーツ指導特殊研究

生涯スポーツを指導するための具体的な方法論についての認識を深めます。学習者の年齢や技術に応じ、誰もが確実に生涯スポーツを習得し、その面白さを実感できる指導方法を考察します。特に冬季スポーツ種目における指導方法を中心に講義します。